

徳島県鳴門市撫養町大桑島における 祝言のあいさつ

友定賢治

○はじめに

1. 対象地の地理的環境：鳴門市は徳島県の北東部にあり、渦潮で有名な鳴門海峡をはさんで淡路島とむきあっている。撫養町大桑島（ムヤチョーオークワジマ）地区は、その中心地に位置する。徳島市からは約15 kmほどの距離。
2. 対象地の社会的経済的環境：かつては塩田が広がっていた地区であるが、現在は住宅地と商業地区になっている。
3. 生業：上記のように、現在は住宅地であって、商業以外にとりたてて記すべき産業はない。
4. 交通：香川県・徳島市に通じる国道11号線が通り、バスの便も多い。高德本線（高松～徳島）から分岐する鳴門線の終着駅鳴門から徒歩でも10分ほどの所。淡路島と結ぶ大鳴門橋にも近い。
5. 人口：鳴門市は、約21000世帯、人口は約65000人である。
6. 調査年月日：1990年11月14日 午後6時～9時
7. 方言話者：中島政雄 大正3年生まれ（76歳）
8. 調査者、調査場所：筆者が話者宅で行った。
9. 調査方法：質問法による。

I. 結納授受のあいさつ

1. 仲人が新婦の家に結納を持参した時、座敷で、その家の主人（新婦の父親）に向かって、どのようなあいさつをしますか。_____

○ コンニチワ オヒガラモ ヨロシーテ オメデトーゴザイマス。オノシオ オアズカリシテマイリマシタノデ ドーゾ メデタク ゴジュノークダサイマスヨーニ。（今日はお日柄もよろしくて、おめでとうございます。お製をお預かりしてまいりましたので、どうぞめでたくご受納下さいますように。）

2. その家の主人（新婦の父親）は、仲人に応えて、どのようなあいさつをしますか。_____

○ アリガトーゴザイマス。ホンジツワ イロイロ オシエワサマデゴザイマス。イクヒサシク チョーダイイタシマス。シェンポーサマ

ニ ドーゾ ヨロシク オッシャツテクダサイマスヨーニ。(ありが
とうございます。本日は、いろいろお世話様でございます。いく久
しく頂戴いたします。先方様にどうぞよろしくおっしゃって下さ
いますように。)

※ 新婦は同席するが何も言わない。仲人のことは「ナカドハン」と言う。

II. 嫁をもらう家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁をもらうことが決まった家の人に道で出会って、近所の人たちは
どのようなお祝いのあいさつをしますか。

○ オタクニワ オコシイレデ オメデトゴザイマス。ヨカッタデス
ネー。(お宅にはお越し入れて、おめでとうございます。良かった
ですねえ。)

2. 嫁をもらう家の人へは、そのあいさつに応じて、どのようなあいさつ
をしますか。

○ アリガトゴザイマス。オカゲサマデ イーヨメオ モラウコトニ
ナリマシタ。ドーゾ ヨロシク オネガイイタシマス。(ありがと
うございます。おかげさまで良い嫁をもらうことになりました。ど
うぞよろしく願ひいたします。)

※ 話者の中島さんのお宅が「オヤカタ」の家であるという事情もあるが、
知らせるべき人には「ゼツダイ(舌代)」で知らせるし、「シャシャ
コ(邪魔)」がはいらないように、あまり近所には言わないようにす
るとのことである。

III. 嫁に出すことが決まった家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁に出すことの決まった家の人に、近所の人たちはどのようなあい
さつをしますか。

○ コノタビワ イートコロエ オコシイレデ オメデトゴザイマス。
(この度は良いところへお越し入れて、おめでとうございます。)

2. 嫁に出す家の人へは、そのあいさつに応じて、どのようなあいさつを
しますか。

○ オカゲサマデ ヤット ヨメニ ヤルコトニナリマシタ。アリガト
ゴザイマス。(おかげさまで、やっとな嫁にやることになりました。
ありがとうございます。)

※ うまくいかない場合があるかもしれないので、結婚式が終わるまで
は、あまりお祝いのあいさつはしないとのことである。

IV. 結婚式当日のあいさつ

結婚式当日、結婚式に出席した人たちは（親戚以外）、どのようなあいさつをしますか。

1. 新郎の父親にどのようなあいさつをしますか。

- ホンジツワ オメデトゴザイマス。 オヨメサンノ オコシイレデ
ゴザイマシテ マコトニ オメデトゴザイマス。（本日はおめで
とうございます。お嫁さんのおこし入れでございまして、まことに
おめでとうございます。）

1-2 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

- アリガトゴザイマス。 マー ケッコーナ オヨロコビオ アリガ
トゴザイマス。 マー ドーゾ オアガリクダサイマセ。（ありが
とうございます。まあ、結構なお慶びをありがとうございます。
まあ、どうぞ、お上がり下さいませ。）

2. 新婦の父親にどのようなあいさつをしますか

- ホンジツワ シェーダイナ ケッコンシキデ オメデトゴザイマ
ス。 ゴリッパナ オムコサンデ ゴアンシンデゴザイマショー。（本
日は盛大な結婚式でおめでとうございます。ご立派なお婿さんでご
安心でございましょう。）

2-2 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

- アリガトゴザイマス。 エー ヒトノトコロデ ヨロコンドリマス。
コンゴトモ ドーゾ ヨロシク オネガイタシマス。（ありが
とうございます。いい人のところで よろこんでいます。今後とも
どうぞよろしく願ひいたします。）

V. 結婚式後、姑が新婦を連れて近所へあいさつに回る時のあいさつ

1. 結婚式後、姑が新婦を連れて、近所の家にあいさつをして回る時、
姑はどのようなあいさつをしますか。

- コノタビ ウチノ ヨメニ モライマシタ 〜デゴザイマス。 フツ
ツカモノデゴザイマスガ ドーゾ ヨロシュー オヒキマワシノ ホ
ドオ オネガイタシマス。（この度、うちの嫁にもらいました
〜でございます。ふつつかものですが、どうぞ、よろしく、お
ひきまわしのほどを、願ひいたします。）

2. そのあいさつに応えて、近所の人はどのようなあいさつをしますか。

- コノタビワ オメデトゴザイマス。 エートコカラ モラワレタソ

ーデ コチラコソ ヨロシユー オネガイイタシマス。(この度はおめでとうございます。いいところからもらったそうで、こちらこそ、よろしく願いたします。)

VI. 嫁を迎えた家の人へのお祝いのあいさつ

1. 10日ほど前に、長男(29歳)に嫁をもらった60歳台の父親へ、結婚式に招かれた50歳台の女性が、昼下りの路上で、どのようなお祝いのあいさつをしますか。

○ シェンジツワ アリガトーゴザイマシタ。オヨメサン ゴキゲンヨロシユーゴザイマスカ。(先日はありがとうございました。お嫁さん ご機嫌よろしゅうございますか。)

2. 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか

○ シェンジツワ ゴクローサンデゴザイマシタ。ケッコーナ オイワイ イタダキマシテ アリガトーゴザイマシタ。キゲンヨー ヤツテオリマスカラ ドーゾ ゴアンシンクダサイ。(先日は御苦労さんでございました。結構なお祝いをいただきまして、ありがとうございました。機嫌良くやっておりますので、どうぞご安心下さい。)

VII. 結婚式後の仲人へのあいさつ

1. 結婚式後、仲人の所へ新郎新婦(あるいは両親)がお礼に行った時、どのようなあいさつをしますか。

○ コノタビワ タイヘン オシエワニナリマシタ。アリガトーゴザイマシタ。コレ オソマツナモンデスケド オレーノキモチデスノデ ドーゾ オオサメクダサイ。(この度は、たいへんお世話になりました。ありがとうございました。これ、お粗末なものですけどどうぞ、お納め下さい。)

2. 仲人は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか

○ マコトニ ゴテーネーニ アリガトーゴザイマス。ドーゾ スエナ ガク ゲンキデ ナカヨク ヤツテクダサイ。(まことに、ご丁寧に、ありがとうございます。どうぞ、末長く、なかよくやってください。)

※ 仲人のところへは、両方の父親がそろって行くとのことである。

VIII. 嫁のはじめての里帰りのあいさつ

1. 嫁がはじめて里帰りする時、嫁ぎ先の親に、どのようなあいさつを

しますか。

まず親のほうから、帰るようにすすめるのが普通である。そのときは、次のように言う。

- イチド カエッテ オヤノカオ ミテキタラ ドーエ。(一度帰って、親の顔を見て来たらどうかね。)
- ソレデワ イカセテイタダキマス。ドーモ アリガトーゴザイマス。(それでは 行かせていただきます。どうも ありがとうございます。)

2. 両親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

- ユックリ シトイデ。オトーサン オカーサンニ ヨロシクイトイテナ。(ゆっくりしておいで。お父さんお母さんに、よろしく言うておいてね。)

※ 泊まって来ることはなく、日帰りということである。

[鳴門教育大学]